

延岡市福祉先進都市づくりシンポジウム

国立がん研究センター最新の研究 —薬物治療最前線—

この数年で、がんの治療に関する研究は目覚ましい進歩を遂げ、大きな成果を上げました。近い将来、人類はがんを完全に克服できるかもしれません。

今回のシンポジウムでは、がん薬物療法最適化を目指した個別化医療研究と新薬開発の動向、また、今後のがん治療に関するお話を、世界的に著名なお二人の先生にわかりやすくお話しいただきます。

日時：平成28年12月10日(土) 13:30～16:20 (開場 12:30)

会場：九州保健福祉大学 F 講義棟

講演1：上園 保仁 先生

(国立研究開発法人国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野 分野長)
「がん患者の生活の質(QOL)を向上させるための基礎から臨床への橋渡し研究 —漢方薬の作用機序の解明から新薬開発まで—」

講演2：濱田 哲暢 先生

(国立研究開発法人国立がん研究センター研究所 臨床薬理研究分野 分野長)
「がん薬物治療の個別化医療の実現と新薬開発」

参加費：無料(定員400名) ※先着順(事前のお申込みは不要です)

～ご留意いただきたい点～

- 路線バスで来場される場合には、**終点ひとつ手前の「九州保健福祉大学」**でお降りください。大学の正門前のバス停です。
- 自家用車で来場される場合、**駐車場から会場までは少々距離がございます**。会場までは係員が誘導いたしますので、ご不明な点などございましたら係員にお尋ねください。また、ところどころ足元が悪い箇所がございますので、雨の日は特にお気をつけください。

主催：九州保健福祉大学 QOL 研究機構 薬学研究所

共催：延岡市

後援：延岡市西臼杵郡薬剤師会・延岡市教育委員会・大学おうえん協議会

<お問い合わせ先>

九州保健福祉大学 QOL 研究機構 薬学研究所 事務局 蒲生 修治(がもう しゅうじ)

TEL: 0982-23-5549

E-mail: gamoshu@phoenix.ac.jp